

取扱説明書

NEW K1-SPOT/N halogen



この度は、K1-SPOT(ハロゲン仕様)をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
ご使用になる前に必ず本説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

安全にご使用いただく為に

警告

- この照明器具は屋内用の製品です。屋外で使用しないでください。屋外で使用すると**火災・感電の原因**となります。
- 器具の取り付けは取り扱い説明書にしたがって、専門家(舞台・テレビジョン照明技術者)又は、有資格者(電気工事士)が確実に行ってください。取り付けに不備がある場合、**火災・感電・落下の原因**となります。
- 電源接続の際は、本説明書に従って確実に行ってください。接続に不備がある場合、**火災・感電の原因**となります。
- 器具の改造はしないでください。**火災・感電・器具故障の原因**となります。
- 器具やランプを布や紙などの可燃物で覆わないでください。**火災・感電の原因**となります。
- 万一、煙が出たり、異臭などの異常状態のまま使用しますと、火災の原因となりますので、速やかに電源を落とし異常が収まったことを確認の上、器具購入店・取り付け施工店へ修理をご依頼ください。

注意

1・使用環境について

- 器具使用周囲温度は5℃～35℃の範囲でご使用ください。**火災の原因**となります。
- 振動・衝撃・粉塵のある場所、水や湿気の多い場所、腐食性ガスの発生する場所には、ご使用にならないでください。**火災・感電・落下・器具故障の原因**となります。
- 屋外の水のかかる場所や、風呂場などの湿気の多い(湿度85%以上)ではご使用にならないでください。**火災・感電・器具故障の原因**となります。

2・取り付けについて

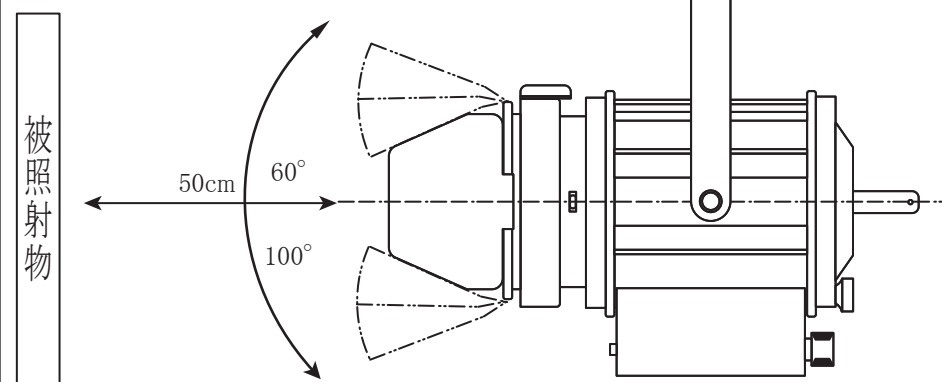
- 器具と被照射物との距離には制限があります。本説明書の指示に従い、十分な距離をとってください。**火災・被照射物の変色原因**になります。
- 使用施設の熱探知機・スプリングクラーなどの防火設備には器具の熱が影響を与えないよう十分な距離をとって器具を設置してください。**防火設備の誤動作など、悪影響を与える事**があります。
- 器具の取り付け、電気工事は有資格者が行ってください。**一般の方の工事は法律で禁止**されています。

3・使用方法

- 電源電圧は器具に表示された(100V)定格電圧の±6%以内でご使用ください。**火災・感電・ランプ破損の原因**となります。
- 電源の抜き差しはプラグを持って行ってください。コードを引っ張って行くと、**断線を引き起こし、火災の原因**となります。
- ランプ交換の際には、本体表示に従って、指定されたランプをご使用ください。指定以外のランプをご使用されますと**火災の原因**となります。
- ご購入後、初めて器具を点灯する際は、塗料の発煙・発臭を伴うことがあります。異常ではありません。30分ほどフル点灯をすることにより解消されます。

照射距離・可動範囲

被照射物と器具とは50cm以上離してご使用ください。
対照物の変色・退色だけでなく、火災の原因となります。
また、器具は下図の可動範囲内でご使用ください。
点灯中やむを得ず、照射角度の調整を行う際は、点灯中は器具が高温になっている為、皮製の手袋をして、おこなってください。

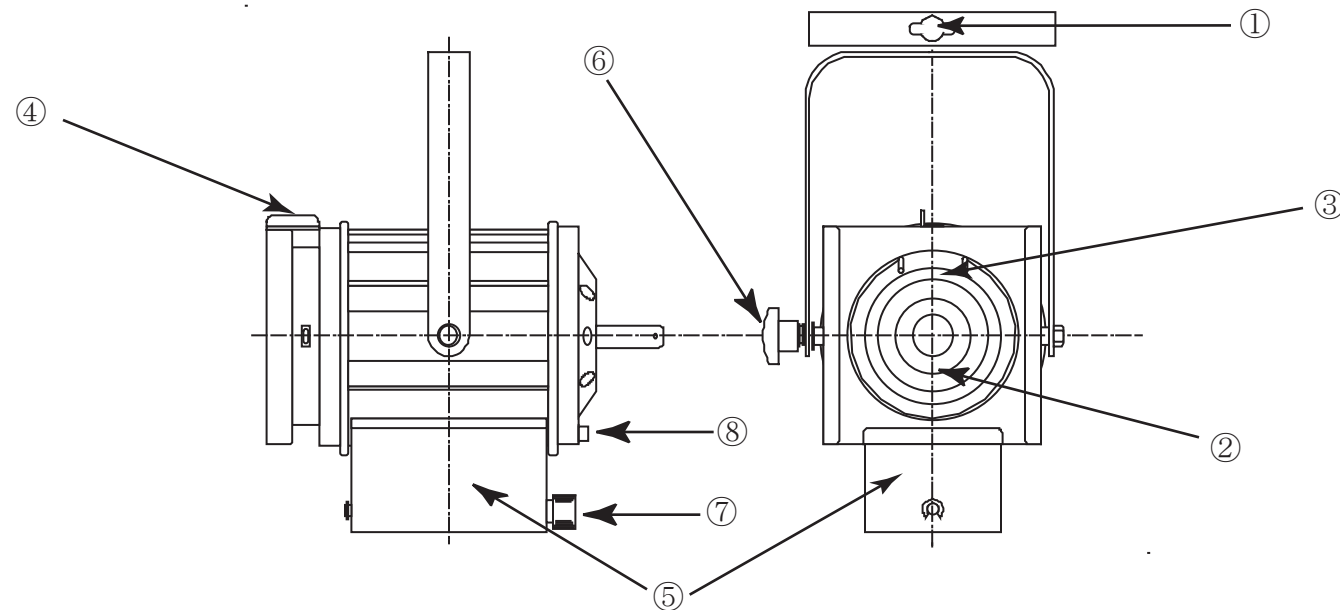


保守点検

- ランプ交換・部品交換・器具清掃時は必ず電源を切って作業を行なってください。
- 安全に使用する為、1年に1回程度の器具点検、ならびに6ヶ月に一度程度の清掃を行うようにしてください。
- 器具の清掃を行う際、シンナー・ベンジンなどの揮発性のものでふいたりしないでください。
- 殺虫剤などがかかるようなことは避けてください。

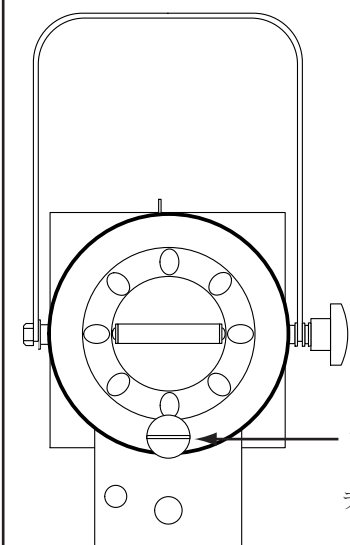
以上の事をお守りいただかない場合、**器具の変色・破損・漏電・火災の原因**となります。

各部の名称・使用方法

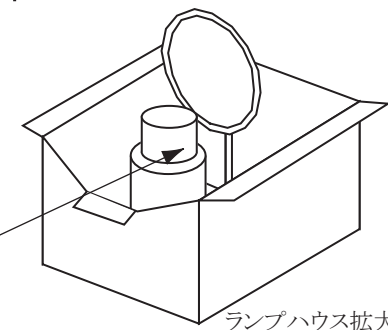


- ①アームホール 専用ハンガー・ダボ(共に別売品)を取り付ける為の穴です。指定品以外の部材を取り付けしないでください。**落下の原因**となります。又、穴に指などを入れると**怪我の原因**となります。
- ②フレネルレンズ 使用前にフレネルレンズがきちっと押さえバネ(③)によって取り付けしている事を確認の上、ご使用ください。レンズを取り外してはスポットを使用しないでください。**火災・故障・事故の原因**となります。
- ③レンズ押さえバネ 事前に器具側の溝にバネの突起物(3箇所)がはまっていることを確認の上、ご使用ください。**レンズ落下の原因**になります。
- ④押さえ金具 フィルターフォルダー・バンドアのストッパーとなります。フィルターフォルダーやバンドアを使用する際は必ず押さえ金具を使用してください。フィルターフォルダー・バンドアの**落下原因**になります。
- ⑤ランプハウス ランプ交換時に本体からはずして行います。その際電源ケーブルをひっぱらないように注意してください。**断線の原因**となります。(ランプの交換の手順は下記に従って行ってください。)
- ⑥アーム調節ハンドル 灯具の照射角を調節する際にこのハンドルを緩めて行います。照射角が決まったら**ハンドルをしっかりと締めてください**。
- ⑦フォーカス棒 このつまみを左右に回転させることでフォーカスの調整をします。点灯中に操作を行う際は布・皮の手袋をして作業をおこなってください。高温により**火傷の恐れ**があります。
- ⑧ランプハウス脱着ネジ このネジを緩めることでランプハウスを本体からはずす事が可能になります。(作業時はランプ交換の手順にしたがっておこなってください。)

ランプ交換の方法



ランプの交換の際は電源を切り、**充分器具の温度が下がって**から、ランプハウス脱着ネジを**マイナスドライバー**を使用して緩め、ランプハウスを下に引き、器具よりはずしてください。(スポット本体から下図のように独立します。)古いランプをソケットからはずし、新しいものと交換してください。**ランプは素手で触れないよう**お願いします。皮膚の油分などで**ランプの破損の原因**となります。使用ランプは**器具適応ランプ(JCV100V-100W・150W)**以外は使用しないでください。ランプ交換後、ランプハウスを本体にもどし、**マイナスドライバー**でしっかりと、脱着ネジを締めてください。 ※ランプ交換作業は器具を吊り位置からおろし、**安定感のある**



台の上で作業してください。 ※バンドアやフィルターフォルダー使用時は本体の押さえ金具が使用されていることを確認して作業をおこなってください。上記と違う手順で作業をおこなったり、注意事項を守らない場合、**器具の破損・事故・怪我の原因**となります。